

## 住宅確保要配慮者の居住や居住支援等の実態のヒアリング調査

## －回答票－

現在大津市では、今後の住生活に関する施策の方向性を定める「大津市住生活基本計画」の策定を進めております。

つきましては、住宅確保要配慮者の居住や居住支援等の実態をお伺いするため、ヒアリング調査を実施させていただきます。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、ご協力のほどを賜りますようお願いいたします。

## ～ご記入上のお願い～

- ◆貴団体・貴社名、ご担当者の連絡先等について下記にご記入ください。
- ◆回答にあたっては、選択肢の中から選んで印(例:○、)をつけてください。
- ◆記入欄が不足する場合には、必要に応じて適宜スペースを増やしてご記入ください。
- ◆回答が不明の場合、空欄としていただいて構いません。回答可能な範囲でお答えください。

貴団体・貴社名		
ご担当者	所属等	
	氏名	
	所在地	
	電話	
	FAX	
	Eメール	

■設問1 居住支援法人としての活動・支援について

居住支援法人として、どのような活動・支援をしているか教えてください。

## ■設問2 住宅確保要配慮者からの問い合わせ・申込み状況および属性について

令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）の住宅確保要配慮者からの問い合わせ・申込み件数および属性を教えてください。

※「問い合わせ」は電話やメールでの相談を含みます。「申込み」は以下のいずれかの具体的な依頼を指します。両方の件数を合算し、その内訳をご回答ください。

- A. 具体的な物件の内見や入居申込み（ハード面支援）
- B. 家賃債務保証、保証人支援、生活支援等の具体的な支援依頼（ソフト面支援）

①問い合わせ件数（電話・メール等での相談含む） \_\_\_\_\_ 件

②申込み件数（AとBの合計） \_\_\_\_\_ 件

（内訳）

A. ハード面支援（物件の内見・入居等）の申込み件数 \_\_\_\_\_ 件

B. ソフト面支援（保証・生活支援等）の申込み件数 \_\_\_\_\_ 件

### ③年齢層

No.	年齢層	A. ハード面支援	B. ソフト面支援
1.	20歳未満	件	件
2.	20代	件	件
3.	30代	件	件
4.	40代	件	件
5.	50代	件	件
6.	60代	件	件
7.	70代	件	件
8.	80歳以上	件	件

### ④世帯構成

No.	世帯構成	A. ハード面支援	B. ソフト面支援
1.	単身世帯	件	件
2.	母子世帯	件	件
3.	父子世帯	件	件
4.	夫婦のみ世帯	件	件
5.	子どもと同居する夫婦世帯	件	件
6.	多世代世帯（3世代以上）	件	件
7.	その他	件	件

⑤住宅確保要配慮者の属性（複数回答可）

No.	世帯構成	A. ハード面支援	B. ソフト面支援
1.	低額所得者	件	件
2.	被災者（発災後3年以内）	件	件
3.	高齢者	件	件
4.	障害者	件	件
5.	子どもを養育している者	件	件
6.	外国人	件	件
7.	中国残留邦人	件	件
8.	児童虐待を受けた者	件	件
9.	ハンセン病療養所入所者	件	件
10.	DV被害者	件	件
11.	北朝鮮拉致被害者	件	件
12.	犯罪被害者等	件	件
13.	生活困窮者	件	件
14.	保護観察対象者等	件	件
15.	東日本大震災等の大規模災害の被災者	件	件
16.	その他（ ）	件	件

### ■設問3 住宅確保要配慮者が直面する住居探しの主な障壁について

支援している住宅確保要配慮者が、住居探しで直面する主な障壁を教えてください。

#### 住宅確保要配慮者が直面する住居探しの主な障壁（複数回答可）

1. 保証人・緊急連絡先の確保困難  
(親族や知人に頼ることが難しい、保証会社への加入を拒否される、など)
2. 収入面の課題  
(安定した収入がない、生活保護受給者である、家賃の支払能力を疑われる、など)
3. 年齢や属性による偏見・差別  
(高齢者、単身者、外国人、生活保護受給者であることを理由に入居を断られる、など)
4. 心身の健康状態  
(障害(身体的、知的、精神的)、病気、過去の病歴などを理由に入居を断られる、など)
5. 物件情報の不足  
(要配慮者を受け入れてくれる物件の情報が少ない、不動産会社が要配慮者向け物件を扱っていない、など)
6. 契約手続きの複雑さ  
(書類が多く手続きが煩雑で理解できない、スマートフォンやインターネット環境がないため  
手続きができない、など)
7. 敷金・礼金などの初期費用(初期費用が工面できない、など)
8. 過去のトラブル  
(過去の家賃滞納や近隣トラブルなどが原因で、信用情報がブラックリストに載っている、など)
9. 定期的な訪問が必要  
(安否確認や生活状況の確認のため、物件オーナーや管理会社から定期的な訪問や連絡を求められる、など)
10. 退去時の立会いが必要  
(孤独死や原状回復費用に関する懸念から、退去時に支援者や団体による立会いや手続きへの関与を  
求められる、など)
11. 見守りが必要  
(入居後の生活における見守り・支援体制の確保が求められる、緊急時の対応や連絡体制が不十分で  
あることを懸念される、など)
12. 特になし
13. その他

■設問4 行政や関係団体との連携について

行政や関係団体との連携について教えてください。

①行政や関係団体とすでに連携していますか？（単一回答）

1. 連携している → (②へ)
2. 連携していない

<①で1. と回答した場合：行政や関係団体とすでに連携している場合>

②具体的にどのような連携をしていますか？（自由記述）

■設問5 支援活動における課題について

住宅確保要配慮者への支援を行う上で、課題と感ずることを教えてください。

①物件関連の課題（複数回答可）

1. 入居可能な物件の不足
2. 家主や管理会社の理解・協力の不足
3. 物件の改修やバリアフリー化の費用負担
4. 特になし
5. その他（ )

②対象者関連の課題（複数回答可）

1. 対象者との信頼関係構築の困難さ
2. 対象者の孤立、生活習慣の乱れ
3. 障害（身体的、知的、精神的）を持つ対象者への対応
4. 退去時のトラブル対応（原状回復費、家財処分など）
5. 特になし
6. その他（ )

③制度・連携関連の課題（複数回答可）

1. 行政機関との連携不足
2. 医療機関、福祉機関、就労支援機関など、他機関との連携不足
3. 情報共有・連携の仕組みが確立されていない
4. 特になし
5. その他（ )

④その他（自由記述）

■設問6 セーフティネット住宅について

セーフティネット住宅について教えてください。

＜貴団体・貴社がハード面支援（物件の内見・入居等）をしている場合＞

①セーフティネット住宅においてどのようなハード面支援をしていますか？（単一回答）

1. セーフティネット住宅を所有・管理・仲介している（物件を提供している）→（②へ）
2. セーフティネット住宅を所有・管理・仲介していない（今後も扱う予定はない）→（③へ）
3. セーフティネット住宅を所有・管理・仲介していないが、今後扱う意向がある →（④へ）

＜①で1. と回答した場合：セーフティネット住宅を扱っている場合＞

②貴団体・貴社が関わっている登録住宅（セーフティネット住宅）は、現在何件ありますか？  
\_\_\_\_\_件

＜①で2. と回答した場合：所有・管理・仲介していない（今後も扱う予定なし）の場合＞

③セーフティネット住宅を扱わない主な理由は何ですか？（複数回答可）

1. セーフティネット住宅の仕組みやメリットがよくわからない
2. 登録要件（広さ、耐震性など）を満たす物件がない
3. 補助金手続きが煩雑である
4. 家賃滞納や孤独死などのリスクが不安
5. その他（ \_\_\_\_\_ ）

＜①で3. と回答した場合：所有・管理・仲介していないが、今後扱う意向がある場合＞

④セーフティネット住宅を扱う上で、市に期待する支援や情報提供はありますか？（自由記述）

＜貴団体・貴社がソフト面支援（保証・生活支援等）をしている場合＞

① セーフティネット住宅内で提供している支援サービスがあれば教えてください。（自由記述）

② 貴団体・貴社が関わっている登録住宅（セーフティネット住宅）は、現在何件ありますか？  
\_\_\_\_\_件

■設問7 居住サポート住宅について

居住サポート住宅について教えてください。

①貴団体・貴社は居住サポート住宅についてご存知ですか？（単一回答）

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. 知らない

②居住サポート住宅の認定実績はありますか？（単一回答）

1. 実績がある
2. 実績はない

③今後、居住サポート住宅の認定制度を活用したい意向はありますか？（単一回答）

1. 大いにある
2. どちらかといえばある
3. あまりない
4. まったくない

■設問 8 その他のご意見、ご要望等

住生活基本計画に関連するその他のご意見、ご要望等がございましたら、ご記入ください。

調査内容は以上です。

お忙しい中、ご協力ありがとうございました。